

2. 調査内容

1. 調査名称 高野町町立保育所新築工事に伴う地質調査工事

1. 調査場所 和歌山県伊都郡高野町地内

1. 調査期間 昭和53年5月6日～5月13日

1. 調査数量 地質調査工事 No.1 GL-11.55m No.2 GL-13.40m No.3 GL-9.4m
No.4 GL-11.35m No.5 GL-15.00m No.6 GL-11.5m

合計 72.15 m

1. 調査方法 地質調査工事は、JIS. A-1219. に基づく、土の標準貫入試験工法にて、1mに1回を実施し、N値の測定と資料の採取につとめた。
ただし、風化土、風化岩では硬質なる為に、貫入を50回で中止し、その時の貫入量を記録した。

1. 使用機械 試錐機 ベル式2型 1台
附属品 1式

1. 調査施主 株式会社 富松建築設計事務所

1. 調査施工 株式会社 武田基礎調査

3. 地質概要及び調査結果

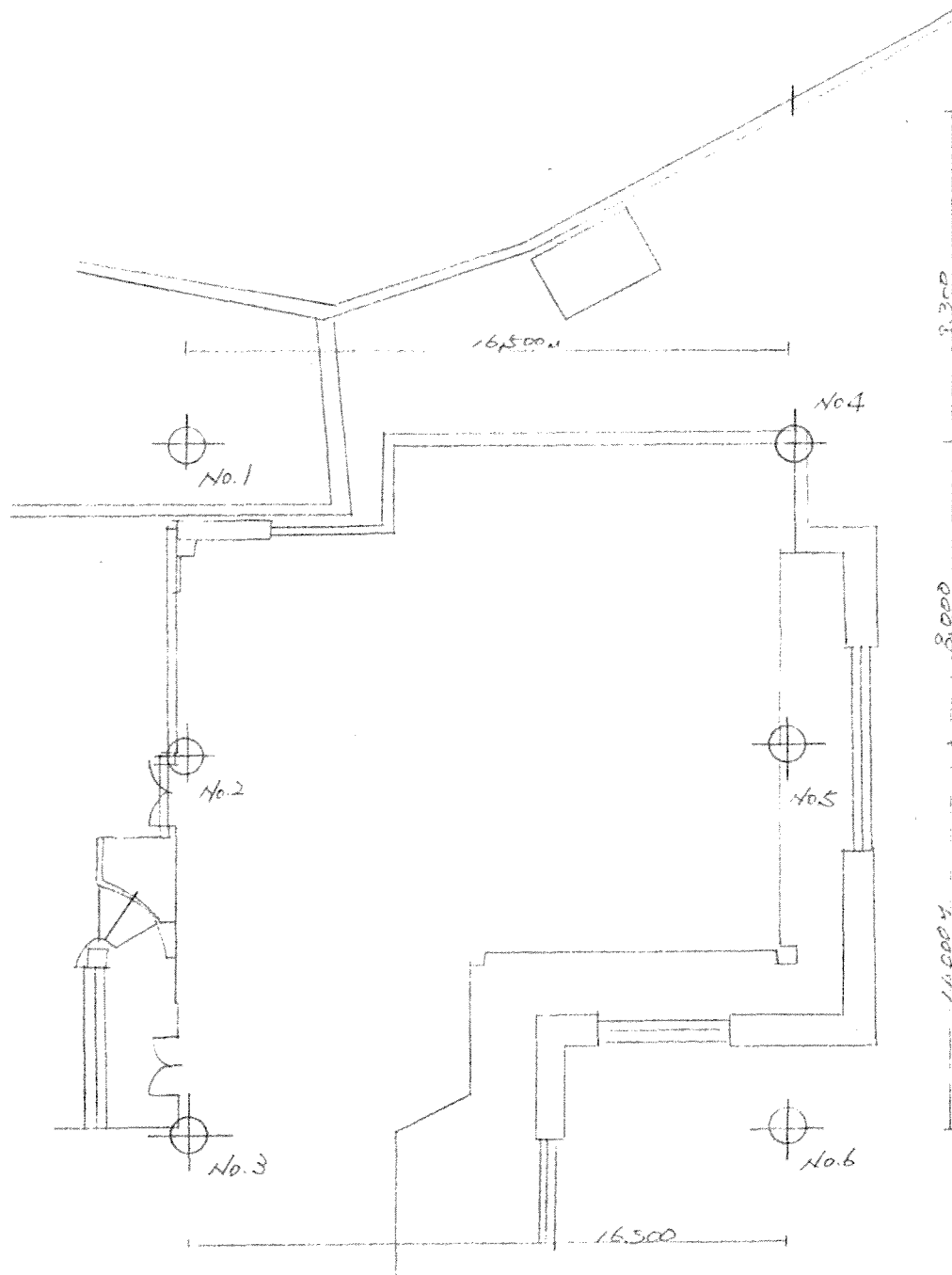
本地質調査工事の結果、地質構成は、柱状図に示した通りであり、ほとんどが、盛土層より構成され、その下に、風化土～風化岩を有する地層である。

盛土層は、片岩の風化土砂を盛土したものであり、盛土時の条件により、風化粘土の多い場合と風化礫が多い場合があり、その結果が、N値として出ている。

上部1～2mまでが、風化砂礫状であり、その下部は、ほとんどが風化粘質土より成っている。

その為に、この層は、上部の荷重により、まだ、圧密が、そく進する可能性を有する為に、圧密沈下が起こる事が考えられます為に、基礎地盤層としては、風化土～風化岩を対象とすべきであり、この層は、N値が50回以上を有する場所を対象地盤と考え、この時の基礎条件は、杭基礎となり、杭の支持力は、N値が50回以上を有する為に、十分なる支持力を有する為に、御設計時には、使用されます杭の常用支持力で、御設計されるべきと考えます。

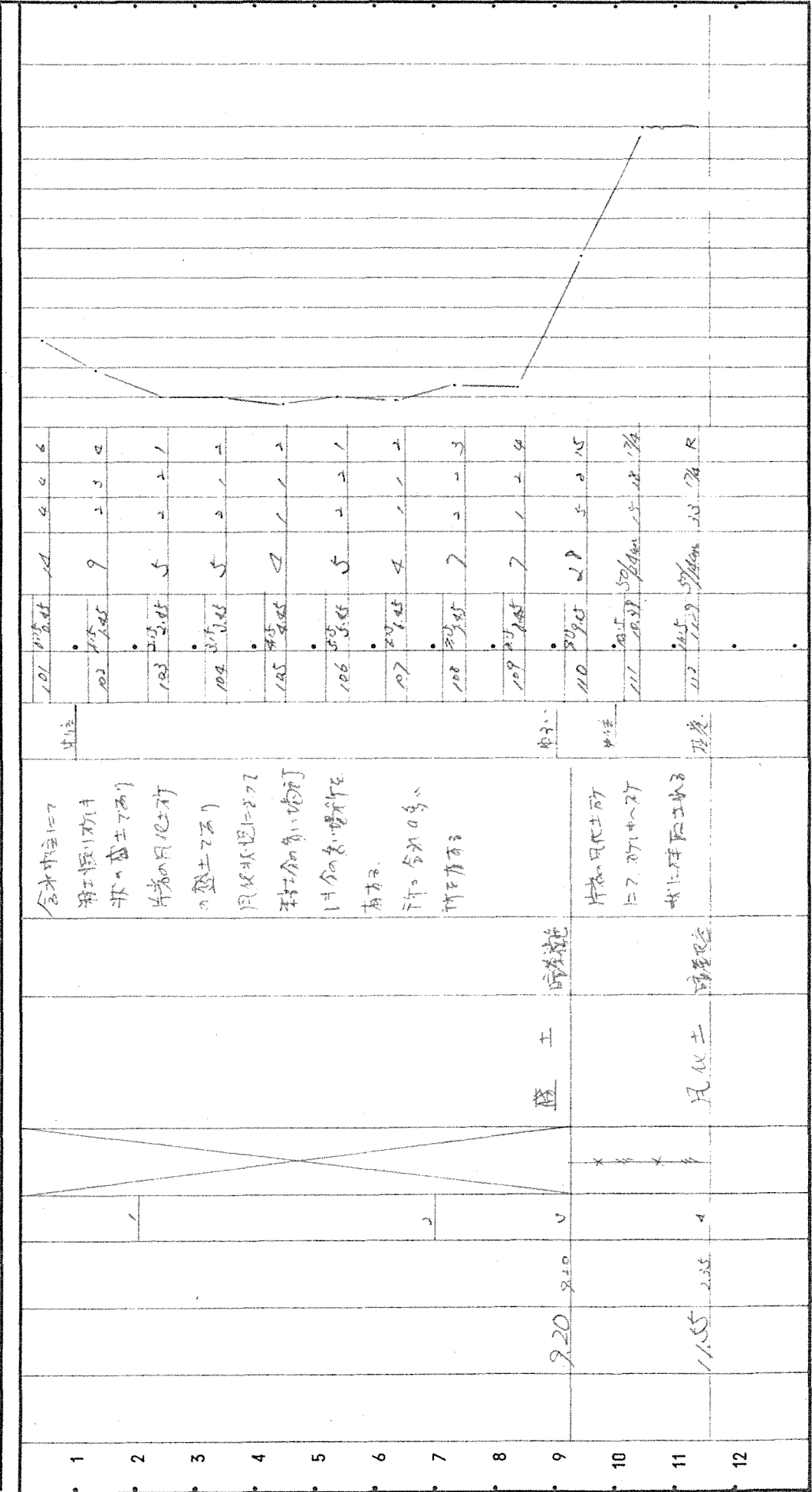
4. 調査位置平面図



地質柱状図

工事名 高野川河川保新築工事 調査期間 昭和55年5月22日 ~ 5月23日 月 22 日
 工事場所 竹野町高野町 担当責任者 佐藤豊彦
 調査地点 No. 1 孔内水位 GL-1.70 m 標高 m 武田基礎調査

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	標本番号	記号	地質名	色調	観察	標準貫入試験			不攪乱試料	
									相対密度	相対調度	試料番号	深度 (m)	N 値 (回)



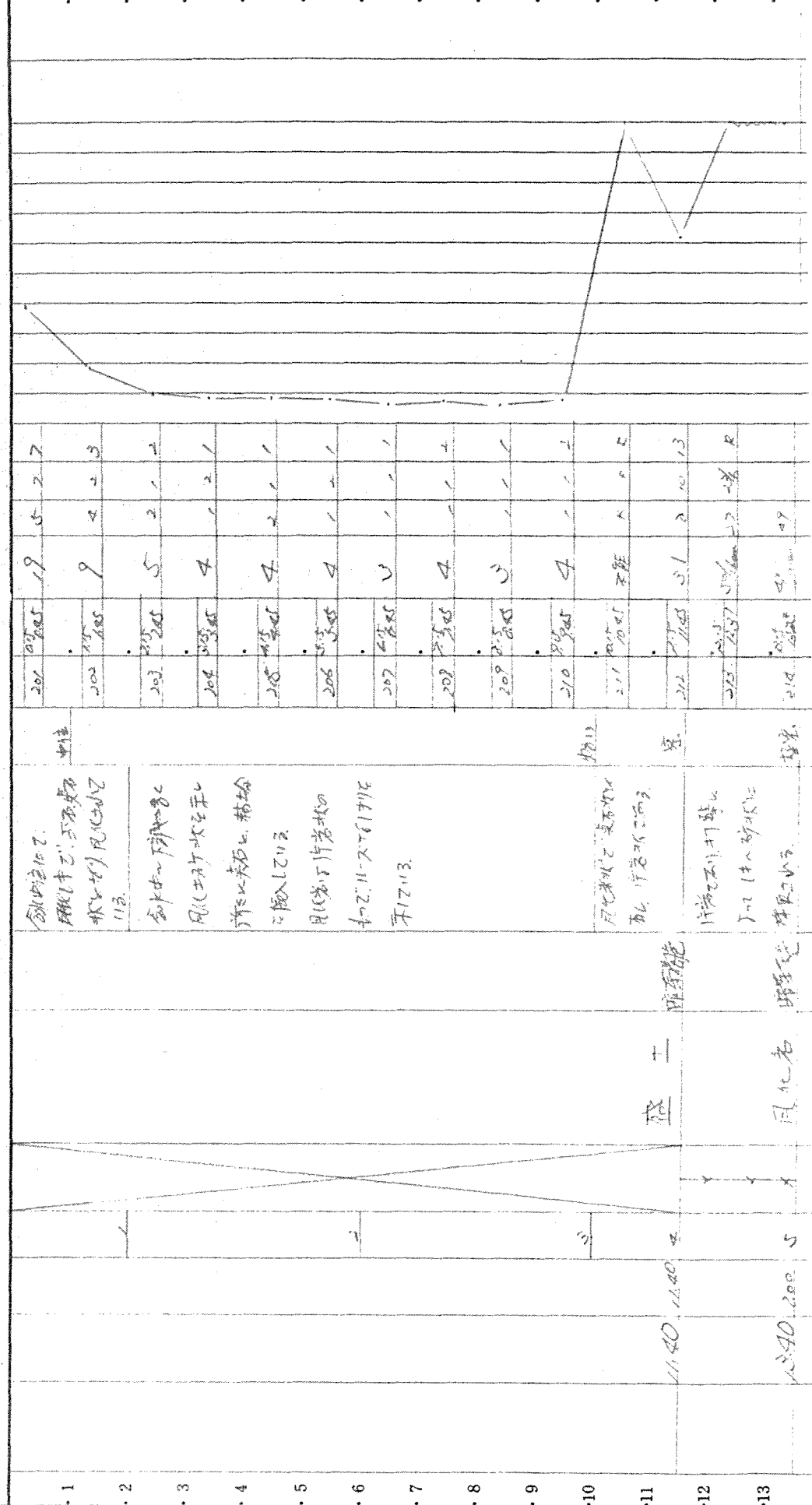
地質柱状図

工事名 高野町立海産研究所築工等 調査期間 昭和53年5月22日～5月23日

工事場所 行解野前野町地内 担当責任者 佐藤豊彦

調査地点 No. 2 孔内水位 GL-2.10 m 標高 m 武田基礎調査

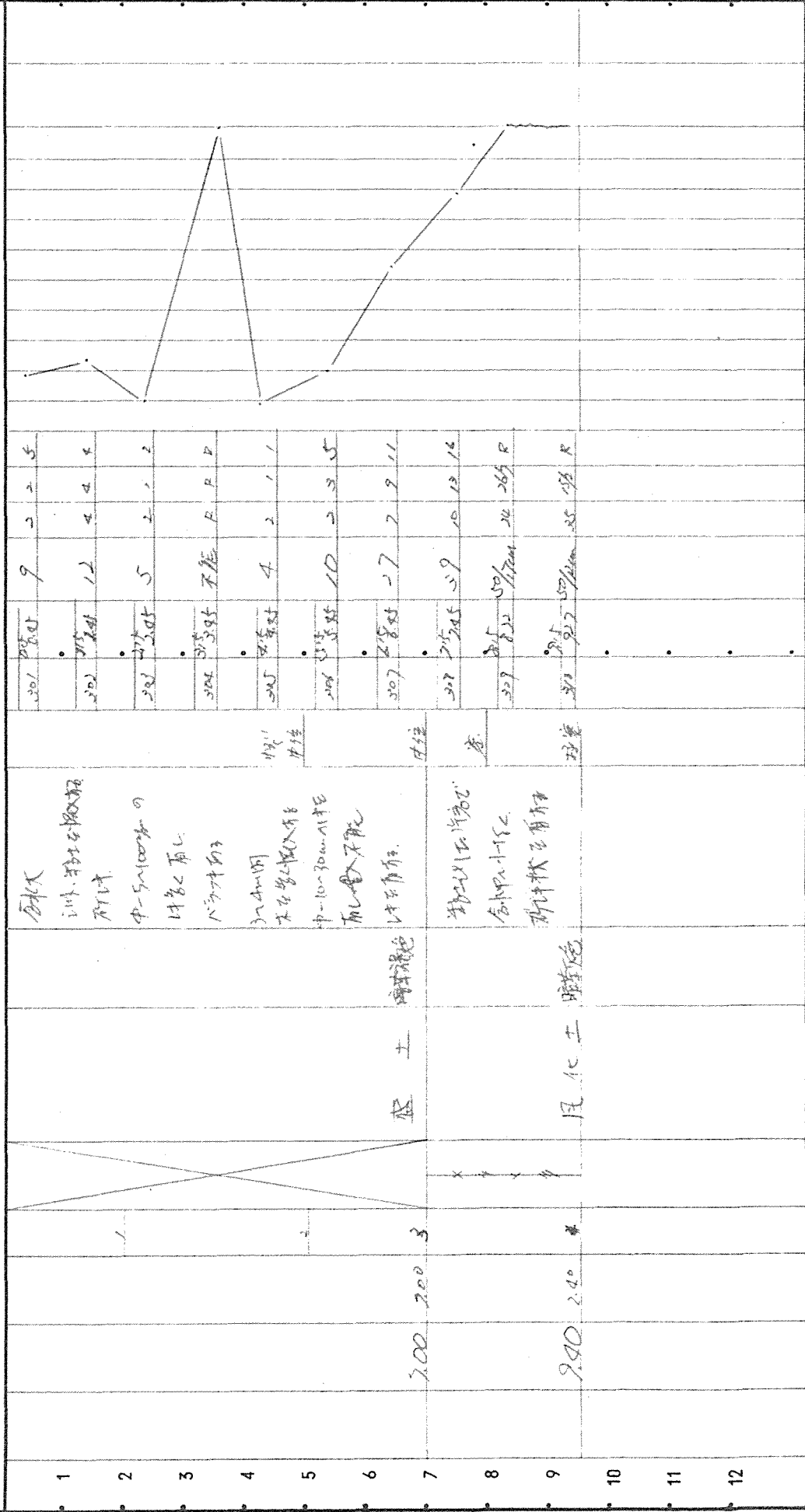
標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	標本番号	記号	地質名	色調	観察	相對密度	相對稠度	標準貫入試験			不攪乱試料		
											試料番号	深度 (m)	N 値 (回)	10cm毎の打撃回数	N 値	表
1											201	0.5	2	7		
2											202	0.5	2	3		
3											203	0.5	2	2		
4											204	0.5	4	1		
5											205	0.5	4	1		
6											206	0.5	4	1		
7											207	0.5	4	1		
8											208	0.5	4	1		
9											209	0.5	4	1		
10											210	0.5	4	1		
11	11.40	11.40	0.40			盛土	黄褐色	片岩(石)打碎し J-2 (土) 砂状に 砕き			211	0.5	4	1		
12											212	0.5	4	1		
13	12.40	12.00	0.40			風化岩	暗紫色	片岩(石)打碎し J-2 (土) 砂状に 砕き			213	0.5	4	1		



地質柱状図

工事名 京野町立学館新築工事 調査期間 昭和53年5月11日~5月11日
 工事場所 京野町立学館敷地内 担当責任者 佐藤豊彦
 調査地点 No. 1 孔内水位 GL-2.00 m 標高 2.00 m 調査 武田基礎調査

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	標本番号	記号	地質名	色調	観察	相對調度	試料番号	深度 (m)	N 值 (回)	貫入試験			不攪乱試料	
													10	20	30	採取深度	採取率 (%)
1																	
2																	
3																	
4																	
5																	
6																	
7		2.00	3			盛土	暗緑色			307	2.85	7	9	11			
8										302	2.45	10	13	16			
9		2.40				片化土	暗褐色			309	2.20	20	26	30			
10										305	2.85	5	2	2			
11										304	3.95	不底					
12										301	2.85	9	2	5			



地質柱状図

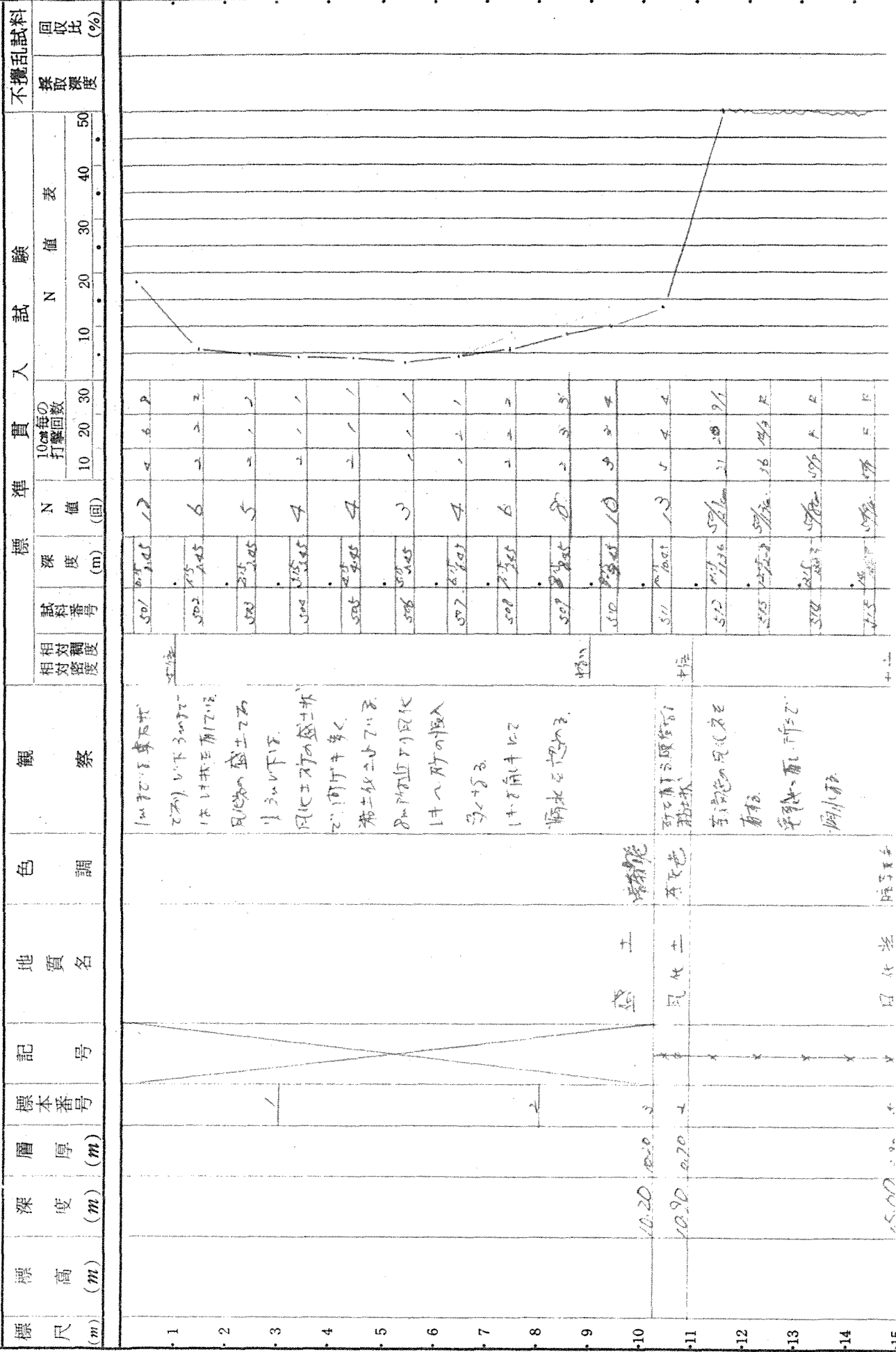
工事名 高野町野立保新庁舎工事

調査期間 昭和53年5月8日～5月9日

工事場所 保新町高野町

担当責任者 佐藤豊彦

調査地点 No. 5 孔内水位 GL - 2.00 m 標高 武田基礎調査



地質柱状図

工事名 高崎町野田保新築工事 調査期間 昭和43年5月9日 ~ 5月10日

工事場所 高崎町野田保 担当責任者 佐藤豊彦

調査地点 No. 6 孔内水位 GL-1.80 m 標高 m 武田基礎調査

標尺 (m)	標高 (m)	深度 (m)	層厚 (m)	標本番号	記号	地質名	色調	観察	標準貫入試験			不攪乱試料			
									試料番号	深度 (m)	N 値 (回)	10cm毎の打回回数	N 値	採取深度	採取率 (%)
1									601	0.5at	23	2	17		
2									602	1at	7	2	2		
3									603	2.5at	6	2	2		
4									604	3at	7	2	2		
5									605	4at	5	2	1		
6									606	5at	6	2	2		
7									607	6at	7	2	2		
8									608	7at	11	3	4		
9									609	8at	14	5	5		
10									610	9at	25	7	10		
11									611	10at	50	14	17		
12									612	11at	57	15	18		

